

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 志々満保育園

長引く新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に、利用者と職員の安全確保を最重要課題とする。それにより生じる活動の制限に対し、全職員が前向きに対策を検討し、より良い子どもの育ちのために最善の保育に努める。また不安が広がる保護者と地域へ対して、児童福祉施設としてできる役割を探り、迅速かつ適切な対応に努める。

1. 環境整備

安全でより快適な保育園作りをめざし、計画的な保育環境の整備に努める。

- ◎常にウイルスが侵入するリスクを意識し、清掃や除菌等の衛生対策に努める。
- ◎物資の入手困難等による危険を生じることの無いよう、情報収集と対策に努める。
- ◎平常時のみならず有事にも子どもたちを守る環境確保の視点をもって点検確認を行い、必要に応じて補修を行う。

2. 保育の展開と発展、子育て支援

常に子供の最善の利益を意識し、個々を受け止め、専門知識に基づいて成長を捉え、適切な成長支援へ繋がる保育に努める。『保育所保育指針』で示された保育へ向け、向上心を持って適切な記録とそれに基づく計画的な保育実践を展開し、職員の情報共有と意識の統一を図る。新型コロナウイルス感染症対策による制限が、子どもの育ちに与える影響に配慮し、知恵を出し合いながら今できる最善の保育を目指す。

- ◎生活や行事全般において『食育』を意識した活動展開により、“食べる”から始まる豊かな感性や生活感、命の尊さや自然を大切に作る心を育てる。
- ◎夢や希望を持ち、愛され守られる喜びを感じることで、感謝する心や社会性を育てる。
- 《一時預り保育》保護者に寄り添い、子育ての一助となる事業展開を目指す。
- 《延長保育》子どもの安定と保護者の安心を両立できる事業実施を目指す。
- 《子育て支援センター事業》保育園職員との連携・協力の下、地域に根差した保育園併設型ならではの活動展開を目指す。

3. 保護者に寄り添い、開かれた保育園作り

CODMON等を有効に活用し、保護者が保育園の理解者になってもらえる保育の発信に努め、信頼関係を構築する。これにより不安が増している保護者に安心を提供し、更に子育ての主体である保護者の子育て力向上に寄与する。

- ◎日々の子供の育ち等を保護者へ細やかに伝え、保護者の要望や意見に丁寧に対応しながら、子育ての喜びの発信を心がける。
- ◎保育園の対応や対策を適切に発信し見える化することで、安心できる施設利用環境を提供する。

4. 防災・防犯・安全対策

安全管理体制、苦情対応制度、防災体制、感染症対策等危機管理マニュアルを常に見直し、全職員が共有して意識向上に努める。これにより火災、事故・事件等のあらゆる危機に対し、的確かつ迅速に予防・対応できる職員集団を目指す。

◎施設・設備・器具の職員による安全点検と、必要に応じた専門業者点検の実施

◎大災害を想定した外部避難訓練実施へ向け、検討・準備・訓練を計画的に実施する。

◎昨年度の西日本豪雨災害等を教訓とし、地震・水害・不審者対策等のあらゆる災害から児童を守る重責を全職員が再認識し、使命感を持って想定力や判断力の向上に努める。

5. 施設の社会性、地域連携

地域の自然や行事、人材や公共施設などの活用に制限が生じるが、展開の工夫や、新たな発信を工夫し、子どもの豊かな体験に繋げる。

◎地域への園便り配布や定期訪問、ホームページの活用により、発信力を強化する。

◎小学校との連携や情報交換に努め、就学における確実な接続を図る。

6. 職員資質の向上

◎コロナ禍でのリモート研修を有効に活用し、各種団体が主催する研修や情報提供に積極的に参加研鑽すると共に、園内共有することで、保育実践の充実向上へ繋ぐ。

◎保育士処遇改善加算に係るキャリアアップ研修のみならず、全職員が経験に応じた研修研鑽と職務遂行能力の向上に努める。

◎保育専門職としての誇りと自覚、更には常に問題意識を持ち、尊重し認め合いながら意見を交わすことで、問題提起・情報発信ができる積極的な職員集団を構築する。

7. 経費縮減

行事備品や消耗品の適切な使用と管理、再利用によりより有効な経費活用に努める。特に環境管理や整備に必要な経費をかけながら、保育の質を低下させることのないよう十分に留意し、省エネ・エコについて園児への指導も併せた職員の意識向上により無駄を削減する。

8. 健全な財政計画

公費を使って公益性の高い児童福祉事業を行う社会福祉法人が経営する保育園としては、永續と安定した経営が求められており、中長期計画書に基づく計画的な法人経営と、見通しを持った管轄省庁(今治市)への働きかけにより、健全な財政運営と経営力の向上に努める。

令和3年度 事業計画

社会福祉法人 志々満保育園

長引く新型コロナウイルス感染症という未曾有の事態に、利用者と職員の安全確保を最重要課題とする。それにより生じる活動の制限に対し、全職員が前向きに対策を検討し、より良い子どもの育ちのために最善の保育に努める。また不安が広がる保護者と地域へ対して、児童福祉施設としてできる役割を探り、迅速かつ適切な対応に努める。

6. 環境整備

安全でより快適な保育園作りをめざし、計画的な保育環境の整備に努める。

- ◎常にウイルスが侵入するリスクを意識し、清掃や除菌等の衛生対策に努める。
- ◎物資の入手困難等による危険を生じることの無いよう、情報収集と対策に努める。
- ◎平常時のみならず有事にも子どもたちを守る環境確保の視点をもって点検確認を行い、必要に応じて補修を行う。

7. 保育の展開と発展、子育て支援

常に子供の最善の利益を意識し、個々を受け止め、専門知識に基づいて成長を捉え、適切な成長支援へ繋がる保育に努める。『保育所保育指針』で示された保育へ向け、向上心を持って適切な記録とそれに基づく計画的な保育実践を展開し、職員の情報共有と意識の統一を図る。新型コロナウイルス感染症対策による制限が、子どもの育ちに与える影響に配慮し、知恵を出し合いながら今できる最善の保育を目指す。

- ◎生活や行事全般において『食育』を意識した活動展開により、“食べる”から始まる豊かな感性や生活感、命の尊さや自然を大切に作る心を育てる。
- ◎夢や希望を持ち、愛され守られる喜びを感じることで、感謝する心や社会性を育てる。
- 《一時預り保育》保護者に寄り添い、子育ての一助となる事業展開を目指す。
- 《延長保育》子どもの安定と保護者の安心を両立できる事業実施を目指す。
- 《子育て支援センター事業》保育園職員との連携・協力の下、地域に根差した保育園併設型ならではの活動展開を目指す。

8. 保護者に寄り添い、開かれた保育園作り

CODMON等を有効に活用し、保護者が保育園の理解者になってもらえる保育の発信に努め、信頼関係を構築する。これにより不安が増している保護者に安心を提供し、更に子育ての主体である保護者の子育て力向上に寄与する。

- ◎日々の子供の育ち等を保護者へ細やかに伝え、保護者の要望や意見に丁寧に対応しながら、子育ての喜びの発信を心がける。
- ◎保育園の対応や対策を適切に発信し見える化することで、安心できる施設利用環境を提供する。

9. 防災・防犯・安全対策

安全管理体制、苦情対応制度、防災体制、感染症対策等危機管理マニュアルを常に見直し、全職員が共有して意識向上に努める。これにより火災、事故・事件等のあらゆる危機に対し、的確かつ迅速に予防・対応できる職員集団を目指す。

◎施設・設備・器具の職員による安全点検と、必要に応じた専門業者点検の実施

◎大災害を想定した外部避難訓練実施へ向け、検討・準備・訓練を計画的に実施する。

◎昨年度の西日本豪雨災害等を教訓とし、地震・水害・不審者対策等のあらゆる災害から児童を守る重責を全職員が再認識し、使命感を持って想定力や判断力の向上に努める。

10. 施設の社会性、地域連携

地域の自然や行事、人材や公共施設などの活用に制限が生じるが、展開の工夫や、新たな発信を工夫し、子どもの豊かな体験に繋げる。

◎地域への園便り配布や定期訪問、ホームページの活用により、発信力を強化する。

◎小学校との連携や情報交換に努め、就学における確実な接続を図る。

6. 職員資質の向上

◎コロナ禍でのリモート研修を有効に活用し、各種団体が主催する研修や情報提供に積極的に参加研鑽すると共に、園内共有することで、保育実践の充実向上へ繋ぐ。

◎保育士処遇改善加算に係るキャリアアップ研修のみならず、全職員が経験に応じた研修研鑽と職務遂行能力の向上に努める。

◎保育専門職としての誇りと自覚、更には常に問題意識を持ち、尊重し認め合いながら意見を交わすことで、問題提起・情報発信ができる積極的な職員集団を構築する。

9. 経費縮減

行事備品や消耗品の適切な使用と管理、再利用によりより有効な経費活用に努める。特に環境管理や整備に必要な経費をかけながら、保育の質を低下させることのないよう十分に留意し、省エネ・エコについて園児への指導も併せた職員の意識向上により無駄を削減する。

10. 健全な財政計画

公費を使って公益性の高い児童福祉事業を行う社会福祉法人が経営する保育園としては、永續と安定した経営が求められており、中長期計画書に基づく計画的な法人経営と、見通しを持った管轄省庁(今治市)への働きかけにより、健全な財政運営と経営力の向上に努める。